

# 10 交通

## ① 道路

上川管内における市町村道、道道の改良率、舗装率は全道平均に比べ遅れています。

管内の地域高規格道路「旭川十勝道路」では、「富良野道路」（延長 8.3 km）が平成 30 年 11 月 24 日に開通しました。現在、国において「富良野北道路」、北海道において「旭川東神楽道路」の整備が進められています。

区 分	延長(km)						改良率(%)		舗装率(%)	
	上 川			全 道			上川	全道	上川	全道
	実延長	改良済	舗装済	実延長	改良済	舗装済				
市町村道	9,552.2	6,227.0	5,452.8	71,205.2	48,965.3	43,028.0	65.2	68.8	57.1	60.4
国道+道道	2,326.0	2,217.3	2,194.1	18,793.4	18,119.9	18,087.6	95.3	96.4	94.3	96.2
国 道	773.9	773.9	773.9	6,877.4	6,877.4	6,877.4	100.0	100.0	100.0	100.0
道 道	1,552.1	1,443.4	1,420.2	11,915.9	11,242.4	11,210.2	93.0	94.3	91.5	94.1
総 計	11,878.2	8,444.3	7,646.9	89,998.6	67,085.2	61,115.7	71.1	74.5	64.4	67.9

(令和 4 年度道路現況調査)

## ② 鉄道

上川管内の鉄道路線は、函館線、石勝線、根室線、石北線、宗谷線、富良野線の 6 線となっており、函館線と宗谷線の一部区間を除き、非電化区間となっています。

電化区間の函館線では特急「カムイ」と特急「ライラック」が運行され、旭川－札幌間を所要時間 1 時間 25 分～1 時間 41 分で結んでいます。

宗谷線では、札幌－稚内間の特急「宗谷」及び旭川－稚内間の特急「サロベツ」が運行されており、特急「宗谷」の走行距離 396.2km は日本の気動車特急で走行距離が最も長いものとなっています。

また、石北線には札幌－網走間に特急「オホーツク」、旭川－網走間に特急「大雪」が、根室線と富良野線では、富良野－札幌間で特急「フラノラベンダーエクスプレス」、旭川－富良野間で「富良野・美瑛ノロッコ号」（トロッコ列車）が臨時列車として運行され、期間中は観光客や鉄道ファンで賑わっています。

## ③ 空港

旭川空港は、昭和 41 年に開港し、昭和 55 年 6 月に第 3 種から第 2 種へ港格変更となり、昭和 57 年 7 月に定期便がジェット化、平成 9 年 2 月には滑走路が 2,500m に延長されました。その後、国際線需要の増加等に対応するため、平成 30 年 11 月に国際線ターミナルビルを増築しました。道内 7 空港の一括民間委託により、令和 2 年 10 月から民間による運営が開始されました。

国際航空路線は、旭川－台北線に 1 社（タイガーエア台湾）の定期便が就航していますが、令和 6 年 4 月 1 日現在では運休となっています。

また、令和 5 年 12 月からは同空港で初めてとなる国内格安航空会社（LCC）ジェットスター・ジャパンの成田線が就航しました。

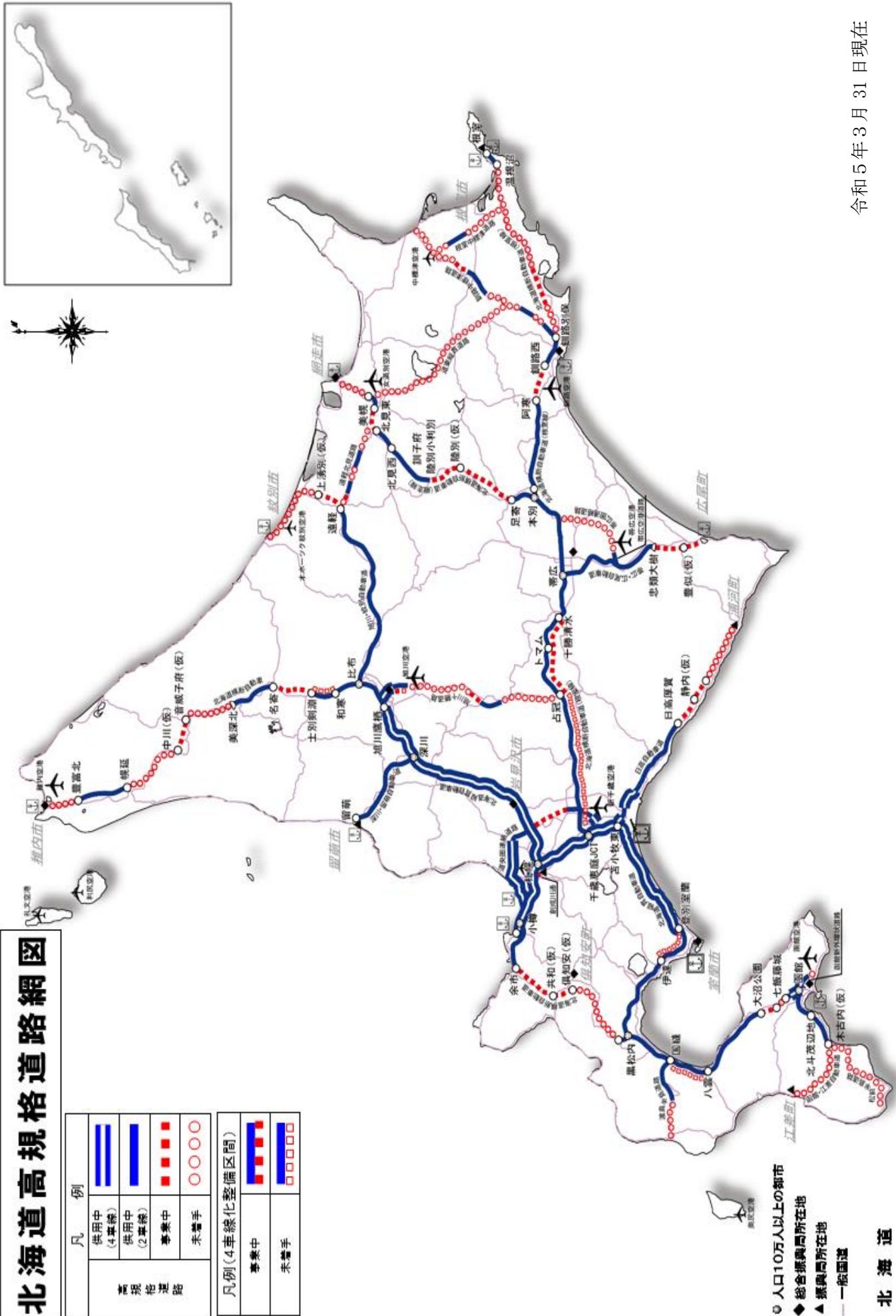
＜旭川空港の利用者数の推移＞

	平成 30 年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比
利用者総数(人)	1,135,514	100.4%	1,079,076	95.0%	289,418	26.8%	459,295	158.7%	858,409	186.9%
うち国際線利用者	55,247	98.0%	43,644	79.0%	0	0%	0	0%	1,498	—

(旭川市空港政策課：乗降客利用状況)

# 北海道高規格道路網図

凡 例	
高規格道路	供用中 (4車線)
	供用中 (2車線)
	事業中
	未着手
凡例(4車線化整備区間)	
事業中	
未着手	



- 人口10万人以上の都市
- ◆ 総合振興局所在地
- ▲ 振興局所在地
- 一般国道

北海道

令和5年3月31日現在